



休眠預金新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援助成2022(2023.3-2024.3)

# 生活困窮世帯や社会的孤立者への支援 地域社会との連携を確かなものに!

~ 民間公益活動を支援し持続可能な中部圏の未来を創る ~



一般財団法人 中部圏地域創造ファンド

Chubu region Creative development Foundation



## 目次

事業概要	p.01
実行団体活動内容	p.03
創発会議	p.08
一般財団法人 中部圏地域創造ファンド	p.09

## ■事業の目的

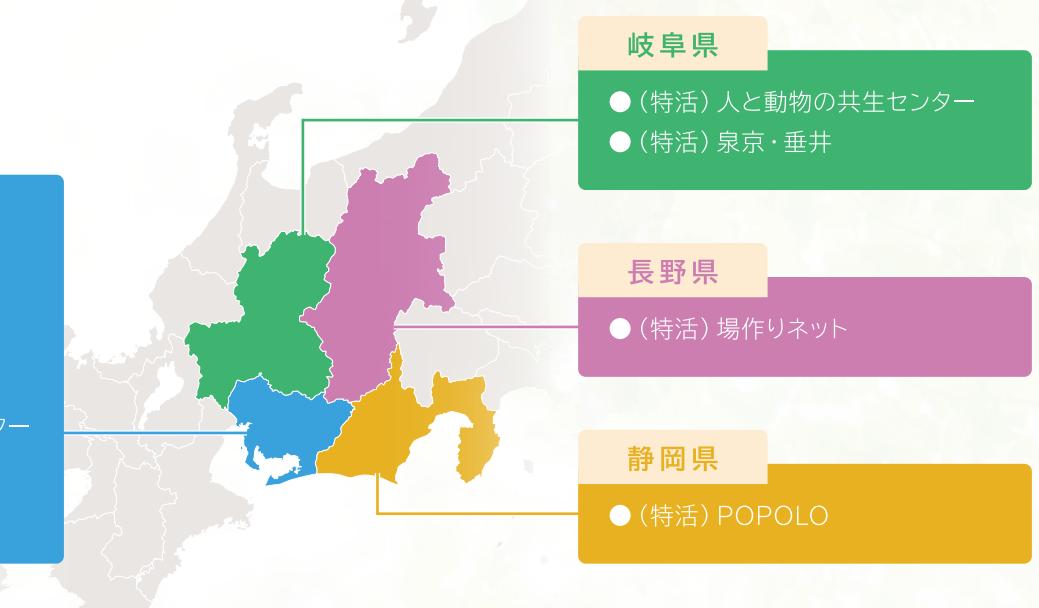
一般財団法人中部圏地域創造ファンド（以下CCFという）は、休眠預金新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援助成2022を受け、資金分配団体として、コロナ禍で社会経済的に一層深刻化する生活困窮世帯や社会的孤立者への支援を推進します。

## ■事業の内容

CCFの支援事業「生活困窮世帯や社会的孤立者への支援～地域社会との連携を確かなものに！～」は、生活困窮世帯や社会的孤立者が将来を展望できるように、①衣・食・住の提供、②寄り添い型生活相談の実践、③学習や就労の支援を実施する活動を助成対象とし、1年間、500～1000万円／団体の助成金を民間公益活動団体に提供しています。

中部5県（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県）から民間公益活動団体を公募して、事業の実行団体として12団体を選定し、各団体に対して資金支援するとともに円滑な事業の遂行や組織基盤強化に向けて、知見や情報の提供、各種の助言など伴走支援をしています。

## ■事業の実行団体（12団体）(2023.7~2024.2)



## ■スケジュール(2023年~2024年)

2023年3月24日～4月24日	応募期間（4月4日・7日 公募説明会） 実行団選定（5月27日 面談による選定会議）	9月28日	第1回創発会議
6月13日	全体オリエンテーション	10月・12月	活動現場訪問
7月3日	会計オリエンテーション	11月	進捗報告
	事前評価	12月7日	ガバナンス・コンプライアンス研修
6月～7月	契約締結	2024年1月22日	第2回創発会議
8月3日	会計コワーキング・個別相談会	3月	事業完了報告

※左記以外に、毎月オンラインによる面談を実施

## 休眠預金制度とは

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」(休眠預金等活用法)に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等(休眠預金等)を活用する休眠預金制度が2019年度から始まりました。国、地方公共団体が対応困難な社会の諸課題の解決を図ったり、民間公益活動の担い手の育成と民間公益活動に係る資金調達の環境を整備するために活用されます。



## 優先的に解決すべき社会の諸課題

「休眠預金等活用法」では、3つの分野を「優先的に解決すべき社会の諸課題」として定めています。

### 1 子ども及び若者の支援に係る活動

- ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
- ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
- ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援

### 2 日常生活又は社会生活を営む上で 困難を有する者の支援に係る活動

- ① 働くことが困難な人への支援
- ② 社会的孤立や差別の解消に向けた支援

### 3 地域社会における活力の低下その他の社会的に 困難な状況に直面している地域の支援に係る活動

- ① 地域の働く場づくりの支援
- ② 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

## 実行団体活動内容

【50音順】

団体名	事業名	所在地	テーマ			事業内容									
			衣食住の提供	寄り添い型生活相談	学習や就労の支援	食料・食事支援	生活支援	居住支援 シェルター	相談 情報提供	居場所づくり	研修 学習支援	就労支援	ニーズ調査	支援者育成	その他
(一社) 愛知子ども応援プロジェクト	こどもの「食」をまんなかに据えた社会的ネットワーク構築事業	愛知県 名古屋市	○			○			○						企業連携の促進
外国人ヘルpline東海	生活困窮に陥った外国人住民の支援体制の強化	愛知県 名古屋市		○			○		○		○			○	支援機関・者のネットワーク形成
(特活)希望の光	新型コロナウィルスおよび物価高騰による経済的困窮に陥った外国ルーツ家庭の子どものための包括的支援事業	愛知県 豊田市		○	○				○		○				
(特活)コネクトスポット	豊かな関係性と体験を生むレンタカー企画事業	愛知県 岡崎市		○	○				○	○		○			カーシェア
(特活)しんしろドリーム荘	DX対応のリスキリングと地域連携で職を得て心から回復する事業	愛知県 新城市			○					○	○	○			
(特活)泉京・垂井	安心・安全な居場所づくり事業	岐阜県 垂井町		○					○	○	○			○	
(特活) 知多地域権利擁護支援センター	社会的孤立者への支援付き住宅確保事業	愛知県 知多市	○	○				○		○					
(一社)つなぐ子ども未来	『公共冷蔵庫みんなのれいぞうこ』を通じた地域連携拡大と戦略づくり	愛知県 名古屋市	○			○	○					○			
(特活)トルシーダ	地域のハブ的役割を担う日本語教室とブランド人学校でのキャリア教育支援事業	愛知県 豊田市			○						○	○			進学情報提供、キャリア教育
(特活)場作りネット	街を社会的インフラにするための場作り事業	長野県 上田市	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		LINE相談
(特活)人と動物の共生センター	社会福祉支援機関と連携した、生活困窮者のペット飼育問題寄り添い相談支援事業	岐阜県 岐阜市		○			○		○						円卓会議の開催(政策提言)
(特活)POPOLO	経済的に生活が苦しい方々への「生活支援」と「キャリア形成に向けた大人の学習支援」のトータルサポート	静岡県 静岡市	○	○	○		○		○		○	○			

## 一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト

<https://aichi-kodomo-ouen.org/>

### 愛知県名古屋市

#### こどもの「食」をまんなかに据えた社会的ネットワーク構築事業



**事業内容**

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰により、生活困窮世帯が増加し、顕在化するようになった。さらに困窮家庭においては、非正規雇用、ひとり親、介護、適切な支援から漏れてしまう障がいなど、複合的かつ慢性的な課題を抱えている世帯が多く、それらを支援するためには、支援者の支援（中間支援）や支援者同士のネットワークが不可欠であると考えます。今や全国に7,000箇所を超える数の子ども食堂があり、まさに住民主体で作り上げ社会インフラとなったこの社会資源を活かし、愛知県全域において、こどもの「食」をまんなかに据えた社会的ネットワーク構築を図ります。

**達成目標**

- こども食堂の会食形式再開100%、コロナ以前の参加者数80%まで回復
- 継続支援・単発支援：支援企業合計60社

**地域社会との連携実績**

- 子ども分野の専門性を持つ研究者、医師がアドバイザーとして新たに参画し専門的な相談支援の体制づくりがすすんでいます。

## 外国人ヘルpline東海

<https://fhelplineinfo.wixsite.com/website-1>

### 愛知県名古屋市

#### 生活困窮に陥った外国人住民の支援体制の強化



**事業内容**

- 言語数と相談対応日数を増やして、当団体の相談窓口の強化を図る
- 市役所、自立支援機関、NPOなど関連機関に通訳を派遣し、相談員が同行する事業を行う。また生活保護などの行政サービスを利用できない相談者や、緊急に支援が必要な相談者に対して、食料品や生活必需品の提供を実施
- 複数の支援者が支援事例を共有するための「支援ケース共有システム（仮称）」の開発
- 支援者が連携するための「つながりの場」の実施

**達成目標**

- 毎月新規ケース5件、事業終了後新規受付60件とし、昨年度より増加している
- 参加者の8割以上が、学んだことを今後に生かせるようになる

**地域社会との連携実績**

- これまで接点がなかったブラジルコミュニティとつながることにより、ブラジル出身の外国住民からの相談が増えています。

## 特定非営利活動法人希望の光

<https://yamakeyasue.wixsite.com/my-site>

### 愛知県豊田市

#### 新型コロナウイルスおよび物価高騰による経済的困窮に陥った外国ルーツ家庭の子どものための包括的支援事業




**事業内容**

- 学習支援事業（対面／オンライン）：日本語が分からず日本の公立校に適応出来ず、不登校や不就学となつたブラジルルーツの子どもに対して、自己肯定感やアイデンティティを育むアプローチと、母語（ポルトガル語）による授業の提供を組み合わせることで、学習習慣の習得や学校復帰のきっかけを提供します。
- 親子の相談支援事業（集団／個別）：外国ルーツの子どもや保護者は言語の壁により既存の教育リソース（適応指導教室やスクールカウンセラー）を活用できていない。そこで支援制度からこぼれ落ちている親子に向けた相談事業を実施します。

**達成目標**

- 対面学習参加者人数：5-7名、オンライン学習参加者人数：20-30名
- 子育て相談会 対面：1回10家族×3回、オンライン：1回5家族×計8回

**地域社会との連携実績**

- ブラジル人コミュニティが主催する女性起業家のイベントへの出展やブラジル領事館と連携して当事者の課題の共有や活動の広報をすすめています。

## 特定非営利活動法人コネクトスポット

<https://npo.connect-spot.net/>

### 愛知県岡崎市

#### 豊かな関係性と体験を生むレンタカー企画事業




**事業内容**

団体の強みである地域とのつながりをつくるための個別支援経験と岡崎市内の支援団体のネットワークを活かしたレンタカー事業を実施します。軽自動車サイズで誰でも利用しやすい移動販売車をレンタカー（カーシェアリング）する仕組みを提供します。

活用例：①ひきこもりなどの相談を行なっているNPO団体などがカフェやバーを開く ②未就労の若者が店長（起業）体験をする

これらの取り組みを通じて当事者・支援団体・地域が連動し合って豊かな関係性と体験の機会の創出を図ります。

**達成目標**

- レンタカー企画の開催数：30回、参加者数：800人

**地域社会との連携実績**

- 福祉センター、精神科のクリニック、子ども食堂、居酒屋、公園（所管課）の協力を得て出店場所の確保をすすめています。



②寄り添い型生活相談の実践



③学習や就労の支援

**特定非営利活動法人しんしろドリーム莊**

<https://dreamso.jp/>

**愛知県新城市**

**DX対応のリスクリングと地域連携で職を得て心から回復する事業**



**事業内容**

本事業は、生活困窮者や社会的孤立者が、DXに対応したこれからの中年で生き残る仕事を見据えた職業能力の学び直し（リスクリング）の講座を提供し、地域産業者と連携して仕事を得ることを支援するとともに、その前提となる当事者の社会参加への挑戦意欲を醸成するために、この学び舎を心安らぐ場として提供する活動を行います。そして、自殺という最悪の事態を予防して行きたいと思います。



**達成目標**

- 講座の出席率、修了試験での正答率：80%以上
- 就職情報及び企業情報の説明会での意向調査に就職のイメージが書かれている率80%以上

**地域社会との連携実績**

- 商工会、地元企業、社会福祉協議会と連携した講和を実施し、就業につながる人間関係をつくるための場づくりに取り組んでいます。

**特定非営利活動法人泉京・垂井**

<https://sento-tarui.jimdofree.com/>

**岐阜県垂井町**



**安心・安全な居場所づくり事業**



**事業内容**

垂井町内2拠点で地域の繋がりを継続的に実感できる場を提供します。また、コミュニティカフェを実施し、誰もが気軽に軽食を楽しめる機会を創出します。それぞれの特徴や地域特性を生かし、困窮世帯や社会的孤立者が地域での繋がりを得ること、また助け合う、支えあう機会を提供し、効力感や地域に対する愛着の醸成を図ります。

- ・日常的な居場所の提供：社会的孤立者も安心して参加でき、地域の人々が集まるコミュニティスペースを運営
- ・定期的なミニイベント実施：コミュニティカフェの実施、地域資源の再発見や地域との繋がりを生む機会の提供
- ・地域サポーター養成：専門家、福祉事業団体等の協力のもと、地域での理解者や活動の担い手を育成

**達成目標**

- 古民家みずのわ居場所利用者数：約144人
- イベント参加者数：約370人
- 地域サポーター養成研修の受講者数：20人

**地域社会との連携実績**

- 町役場、近隣市町の社会福祉協議会、西濃県事務所、小中高、まちづくり協議会、子ども食堂などに研修やイベントの講師や広報協力などを通じて連携しています。

**特定非営利活動法人知多地域権利擁護支援センター**

<https://chita-kenri.or.jp/>

**愛知県知多市**

**社会的孤立者への支援付き住宅確保事業**



**事業内容**

様々な事情で住まいを確保することが困難な社会的弱者を守るために、知多半島の7市町に1拠点ずつ、生活支援付き住宅を確保します。住宅を取得できにくい人達は、生活に支援が必要な人が多く伴走支援が日常生活の継続につながるため地域内NPO法人や事業者と連携して生活支援に取り組みます。居住支援できる拠点が整い、その人達を支援する互助会が活動をおこないます。拠点に住む住人も互助会に入り、支援されるだけの側ではなく双方向の関係・ネットワークを築くことを目指します。



**達成目標**

- 7室が満室になる
- 7室入所者全員が、互助会に入会
- 互助会参加者数：30人、イベント回数：6回

**地域社会との連携実績**

- 知多半島の7市町の生活困窮や高齢福祉を所管する部署の職員の協力を得ながら支援対象となる当事者の紹介を受けています。

**一般社団法人つなぐ子ども未来**

<https://tsunagu-kodomo-mirai.org/>

**愛知県名古屋市**



**『公共冷蔵庫みんなのれいぞうこ』を通じた地域連携拡大と戦略づくり**



**事業内容**

食料支援の実施と併せて、横展開として、昨年の活動で得られた知識と経験を整理し、まとめ、個々の体験から集団知にするために、専門家に依頼して「みんなのれいぞうこ活動ハンドブック」（仮称）を作成します。活動経験のパッケージ化と「のれん分け」によって、他地域でも「みんなのれいぞうこ」活動ができるように取り組みます。他地域でのこうした潜在的なニーズの発掘調査を行い、連携先、協力内容、パッケージの内容、立ち上げのための活動教育プログラムといった諸課題を念頭に中小企業診断士など他セクターの協力により、「のれん分け」の事業化検討調査を行います。

**達成目標**

- 期間中の利用者目標：2500人
- 新規利用登録目標：200人
- 専門家による実態調査により、翌年度以降「のれん分け」事業が可能な状態になる。

**地域社会との連携実績**

- ひとり親家庭の支援に取り組むNPO法人と連携し、情報提供を受けることで利用者ニーズの把握をすすめています。



## 特定非営利活動法人トルシーダ

<https://torcida.jimdofree.com/>

愛知県豊田市

### 地域のハブ的役割を担う日本語教室とブラジル人学校でのキャリア教育支援事業



#### 事業内容

日本の学校へ行っていないことで見えない存在になっているブラジル人学校生徒と、社会と繋がりのない若者、子育て等で社会から孤立しがちな外国人住民を主な対象に、日本語を通じた支援事業を実施します。具体的には外国人であることから、アルバイトや派遣で働くしかない現状を打開するためのエンパワメントとなるようなバイリンガル人材を育てる日本語教室の開催、ブラジル人学校でのキャリア形成を考えるための講座、日本語を学びたい人のための託児支援等、日本にいながら地域とも近隣の日本人とも接触がなく、包摂の機会がない彼らが日本語を学ぶ機会を失わないような活動を行います。



- 達成目標
  - 日本語教室の開催日数: 150日 ● キャリア教育開催日数: 6日
  - ブラジル人学校を支援する団体との意見交換会や合同イベントの実施回数: 4回

- 地域社会との連携実績
  - 他地域でブラジル人支援に取り組む団体のイベントに参加し支援団体や専門機関とネットワークを形成、新規の日本語指導の機会につながっています。

## 特定非営利活動法人人と動物の共生センター

<https://human-animal.jp/>

岐阜県岐阜市



### 社会福祉支援機関と連携した、生活困窮者のペット飼育問題寄り添い相談支援事業



#### 事業内容

- 動物相談ホットラインの運営  
生活困窮者および社会福祉関係事業者向けの動物相談ホットラインを運営し、相談の受付および助言を行います。受益者のニーズに対応して、LINE通話による相談も実施します。
- 訪問とLINEによる寄り添い生活支援の実施  
ホットラインでの対応案件の中で、訪問支援が必要な受益者に対して、訪問による生活支援を実施します。受益者と当団体でLINEを交換し、LINEチャットによる継続的な相談支援を行います。
- 政策化に向けた提言活動  
岐阜市・岐阜県の首長・議員に対し、本社会課題について陳情／政策提言を行います。

- 達成目標
  - ホットライン受付件数: 60件 ● 訪問支援実施回数: 100件
  - LINE相談対象人数: 20人 ● 議会での質問回数: 2件

- 地域社会との連携実績
  - 行政や専門機関、ペット企業、動物愛護団体、議会など多様なステークホルダーが参加する円卓会議を開催し、政策提言の実現に向けて連携を深めています。



①衣・食・住の提供



②寄り添い型生活相談の実践



③学習や就労の支援



## 特定非営利活動法人場作りネット

<https://buzzcre8net.hatenablog.com/>

長野県上田市



### 街を社会的インフラにするための場作り事業



#### 事業内容

この事業はLINEによる敷居の低い相談受付の窓口を起点とし、一時宿泊をきっかけにした相談支援事業（やどかりハウス）、またその支援をきっかけに街に「助かる場」を増やすために街の社会資源に働きかけを行う取り組み（のきした）をすすめます。社会的インフラとなる場や人の可視化など「支援」と「街作り」を連動させて活性化し、そのプロセスを成果物にまとめ、困りごとを抱えた人たちの存在を可視化し、社会課題を明らかにすること、そうした困難を打破するためのチャレンジを、相談支援という閉ざされた場ではなく人々の生活の場（街）の中に生み出していくことを目指します。

#### 達成目標

- やどかりハウス 利用者: 50名、宿泊数: 300泊、相談対応数: のべ200名
- LINE相談 友だち登録者: 500名
- 就労体験実施時間: 40時間×8か月、体験者人数: 10名×8か月

#### 地域社会との連携実績

- 生活困窮者支援窓口との合同相談会の開催、社会福祉協議会との協働企画、地域の事業者（本屋、農家など）での就労体験の実施などに取り組んでいます。

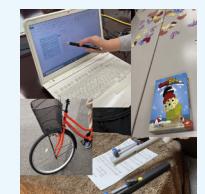
## 特定非営利活動法人POPOLO

<http://npo-popolo.org/>

静岡県静岡市



### 経済的に生活が苦しい方々への「生活支援」と「キャリア形成に向けた大人の学習支援」のトータルサポート



#### 事業内容

- 「生活支援」の取組事例
  - ①派遣切りにあい住む場所と仕事を一度に失った方
    - ⇒就労面接や面接のお金稼ぐための衣服（自転車、作業服、安全靴等）
    - ⇒住まいを確保した後の生活用品や家電（食器類、電気ケトル、炊飯器等）
  - ②一人親で子供の出費が多く、生活がままならない方
    - ⇒子供に関する出費（運動靴、子供用パソコン、習字セット等）
- 「大人の学習支援」
  - ・キャリア形成につながる講座の開催（話し方講座、パソコン教室、ビジネスコミュニケーション講座等）

#### 達成目標

- 利用者数: 50人 ● 利用者自身の前向きな変化: 80%
- 就労または雇用条件改定した割合: 50%以上

#### 地域社会との連携実績

- 一人親を支援する団体と連携し一人親への情報発信（数百人の一人親が参加するグループLINEへの情報提供）を実施することで当事者の活動への参加につなげています。

実行団体の活動の情報、事業完了報告書等は、休眠預金制度の指定活用団体・一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）より詳細が公開されています。  
下記のHP等からご覧いただけます。

休眠預金活用事業サイト  
HP

<https://kyuminyokin.info/>



休眠預金活用事業サイト  
X (旧Twitter)

<https://twitter.com/kyuminyokin>



休眠預金活用事業・  
情報公開サイト

<https://johokoukai.janpia.or.jp/>



## 創発会議

本事業では、実行団体における支援活動や組織運営の現状と課題、情報とノウハウを共有し、よりきめ細かで充実した活動につなげるための「創発会議」を開催しました。2023年9月28日(木)に第1回の創発会議をオンラインで開催し、12の実行団体の関係者が参加しました。事前に実施したコロナ禍での実行団体の地域社会との連携活動について聞く事前ワークシートの集計結果の報告や先駆的な活動に取り組む実行団体(NPO法人えんまる、NPO法人POPOLO)から地域社会と連携した活動事例報告を実施し、その内容を参考に自団体の取り組みに活かすポイント等についてグループに分かれて意見交換しました。以下に事前ワークシートの集計結果の一部を紹介します。

### »» 創発会議2023(第1回)事前ワークシート集計結果

WS1:過去3年間で、地域の団体とどのようなつながりを持ったのか、つながり活動の有無。

地域団体 つながり活動	県	市町村	行政の 外郭団体	社協、 商工会等 公益団体	町内会等 住民団体	企業	教育機関	地元の 他の NPO	その他	合計	
										11	12
名刺交換	10	12	7	12	11	11	12	12	4	92	180
団体活動資料の提供・配布	3	7	4	10	5	4	4	8	3	48	124
地域団体主催の交流会等への参加	9	11	7	9	9	8	8	10	4	76	97
会議・意見交換の実施	5	8	2	8	4	8	3	7	3	48	97
団体事業への後援・協賛・寄附	4	8	3	8	5	5	6	7	3	49	97
共催事業や協働活動の実施	合計		42	58	30	59	44	46	44	56	21

調査団体数が12団体と限定されているので、一般的とは言い難いが、以下の傾向がみられる

- “知り合い程度”のつながりは、どの地域団体(行政の外郭団体を除き)とも同様だが、つながり活動が、知り合い程度→情報交流→事業協力になるにつれ、つながり件数は漸減する。  
・・・→今後は具体的な事業におけるつながり活動の増加が期待される。
- 市町村、社協等公益団体、地元NPOとのつながりが 情報交流、事業協力においても相対的に多く、地域の住民団体とのつながりが相対的に弱い。



## 理念

地域や社会の課題解決に向けて活動する民間公益活動団体及びその民間公益活動に対して、資金支援や人材育成等非資金的支援を行うことにより、安心して暮らすことができ持続的発展が可能となる地域社会の形成に努め、もって中部圏（愛知、岐阜、三重、静岡、長野）における公益の増進に寄与する

## 各種募金を募り、中部圏の民間公益活動を支援します。

「寄付（志）」を集めて基金をつくり、民間公益活動推進のために活用します。

寄付は、常時受け付け、金額に制限はありません。詳細についてはご相談ください。

### ■わたしの基金（冠基金）

寄付をされる方の志に基づいて設置する基金で、寄付者は、名称、助成対象、助成期間を自由に指定でき、寄付者の数に応じた基金の種類を設置します。

### ■いいね！基金（共感基金）

3つの視点から用意している9種類の基金で、各基金の趣旨に共感していただいた方からの寄付を募集し、一定額が集まった段階で助成活動を実施します。

視点1

#### 日本社会が抱える 主要課題に対応

- ①貧困対応の支援
- ②就労の支援
- ③農山漁村の活性化の支援
- ④自然災害・  
パンデミック対応等の支援

視点2

#### 中部圏における 主要課題に対応

- ①南海トラフ地震対応の支援
- ②多文化共生の支援
- ③愛・地球博の  
理念継承活動の支援

視点3

#### 民間公益活動団体の 組織基盤の強化

- ①ソーシャルビジネスの支援
- ②民間公益活動団体の  
組織基盤強化の支援

### ■本財団応援基金

本財団の活動を持続発展させていくため、必要な管理費用や調査研究等に使用させていただくために設ける基金です。

## ■組織概要

設立年月日	2018年2月15日
連絡先	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-16 愛知県林業会館2階 Tel: (052) 228-0350 Fax: (052) 228-0360 Email: crcdf@crcdf.or.jp URL: <a href="https://www.crcdf.or.jp">https://www.crcdf.or.jp</a>
年間助成額	152,282,240円（2022年度実績）
助成件数	29件（同）

## ■役員

理事長	稻垣隆司	評議員	青木孝弘
副理事長	山田雅雄	岩原明彦	内輪博之
理事	雨森孝悦 鵜飼宏成 大西光夫 大野明彦 後藤澄江 小林宏之 服部 敦 羽根田英樹	片桐正博 加藤義人 新開輝夫 鈴木盈宏 戸田敏行 戸成司朗 福和伸夫 森川高行	
監事	藤田 哲 吉田歌子 古川一也	顧問	奥野信宏 モンテ・カセム

## ■事務局

事務局長	神原義治
事務局次長	青木研輔
プログラムオフィサー	青木研輔 栗木梨衣 三島知斗世 神原あかり
事務局	大西晶子 宇都宮亮二

## 中部圏地域創造ファンド団体紹介

### ■休眠預金を活用した助成プログラムの実績

当財団は、休眠預金制度の資金分配団体として、民間公益活動をおこなう団体の事業に対して助成を実施しています。

#### 草の根活動支援事業 「チームによる支援活動の広域展開」(2021年度採択)

この事業は、貧困、引きこもり、ヤングケアラー、不登校等、様々な状況の下で社会的孤立に直面し、悩みを抱えながら生活している子ども・若者（外国籍世帯の子ども・若者も含む）に対して、地域社会との多彩な形のつながりを模索し、社会的自立を促す社会的包摶の実現に取り組んでいます。「生きづらさを抱える人たちを地域で支えあうネットワーク強化事業」（三重県北勢郡）、「母子家庭等住宅確保困難者に対する、居住から自立まで一気通貫サポート事業」（愛知県名古屋市）、「ホームスタートを核とした、公民連携による地域の子育て支援力の向上と母子の健全育成」（愛知県）、「ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク構築事業」（岐阜県）の4事業に2022～2024年度の3年間助成します。

#### 新型コロナウイルス対応緊急支援助成2021 「生活困窮者や社会的孤立者への支援」(2021年度採択)

この事業は、生活困窮世帯および社会的孤立者を対象に「衣、食、住」の提供、寄添い型相談、学習・就労支援に取り組むNPO等の活動を支援し、こうした状況を少しでも打開し、コロナ禍で深刻化する生活困窮世帯や社会的孤立者に積極的に寄りそい、将来を展望できることを目指しました。13事業に2022年度に助成しました。

#### 草の根活動支援事業 「地方都市・農山村等におけるコミュニティの持続的発展」(2023年度採択)

この事業は、地方都市・農山村が直面している地域課題の解決を図り、新たな豊かさを備えたコミュニティの持続的発展を目指すチーム活動を支援します。2023～2026年度に総額8550万円の助成を実施予定。

SNSで最新の活動情報を  
発信しています

X (旧Twitter) ▶▶▶

<https://twitter.com/chubufoundation>



Facebook ▶▶▶

<https://www.facebook.com/chubukenzf/>



休眠預金新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援助成2022(2023.3-2024.3)

## 生活困窮世帯や社会的孤立者への支援 地域社会との連携を確かなものに!

~ 民間公益活動を支援し持続可能な中部圏の未来を創る ~



一般財団法人 中部圏地域創造ファンド

Chubu region Creative development Foundation

